

ソフィア・クラブからの感謝状とブルガリア・ワイン

ソフィア・クラブは、ブルガリアの孤児や心身障害児など恵まれない子どもたちを救援することを目的とする事業や、日本とブルガリアの文化交流・友好親善を進める活動を行っている会員約100名の団体です。名誉顧問はゲオルギ・ヴァシレフ駐日ブルガリア共和国特命全権大使、会長は元衆議院議員の園田天光先生です。

ソフィア・クラブからの招待を受けて、花冷えのする肌寒い日でしたが、3月30日に東京都渋谷区代々木のブルガリア大使公邸で行われたパーティーに出席してきました。皆さんもご存知のことですが、昨年5月にブルガリアのステラちゃんという少女の視床下部過誤腫の手術を当院で行いました。今は発作もなくなり学校へもいけるようになって別人のようになったと感謝のメールをもらっています。このときに、ブルガリアにゆかりのあるソフィア・クラブ（ソフィアはブルガリアの首都の名前）の皆さんがチャリティーでお金を集めて援助をして下さったというのが、きっかけです。その後、理事長の中馬誠二さんとは何度も連絡を取りあっておりましたが、公式に招待を受けて家内ともども出席したのです。ブルガリア大使公邸は、作りは洋風で庭は日本式のもので桜の花が散って苔庭に少しピンクがかった雪が積もっているような感じできれいでした。最初は、武蔵野音楽大学卒の平島こずえさんのピアノコンサートがあり、比較的ポピュラーな名曲を楽しみました。武蔵野音大といえば数ヶ月前に当院のロビーでピアノを練習していた視床下部過誤腫の患者さんが武蔵野音楽大学ピアノ科に合格したことを思い出し、パーティーの時にそのことをお話ししたら、平島先生もうれしそうにされていました。1年目の定期検査で入院するときに当院でロビーコンサートをしていただく約束になっています。楽しみにしてましょ。



ピアノコンサートの後、紹介されて、ステラちゃんの術後の近況を報告しステラちゃんのために多大な援助を賜った感謝を伝えました。新潟という地方で世界的な治療を行っているということに多くの出席者が驚いていました。そのときに思いがけなくも、ソフィア・クラブの園田天光先生（元の園田外務大臣の奥様で94歳）から感謝状を授与されました。同時にブルガリア大使からお礼としてブルガリア・ワインをいただきました。私からも援助に対する感謝として中馬さんとブルガリア大使に「亀の翁」を1本ずつ差し上げました。大使は、お酒と一緒にお寿司をたくさん食べたいとおっしゃっていました。この感謝状とワインは応接室にしばらく飾っておきますので、皆さんご覧下さい。



その後、チャリティーパーティーに移り、クラブの会員の皆さんに取り囲まれて質問攻めに会いました。クラブの会員には各界の名士が名を連ねており、渋谷区長さん、元駐ブルガリア大使など多くの方と名刺交換し懇談しました。元ブルガリア大使の松井啓先生は新潟市のご出身で、70代前半で新潟やブルガリアのこともいろいろとお話しを出来ましたが、ブルガリアは良いところなので「是非訪問して下さい」とおっしゃっていました。

視床下部過誤腫の手術数も徐々に増えており、今年はロシアからの患者さんが12名も予約されています。今年中にはおそらく100例に達すると考えています。メイドイン西新潟中央病院の手術で国際貢献が出来ることは、当院の高次元のミッションとして今後もしっかりと継続してゆく必要があると考えています。一人でも多くのステラちゃんのような子どもを救いたいという気持ちを大切にしましょう。



ブルガリア大使



理事長の中馬さん



園田 天光先生